

<第7陣申し送り>

# 宮古市での災害支援活動報告

2011.5.28～6.6

国立病院機構琉球 & 菊池同心のケアチーム



琉球病院

★大鶴 卓      ☆森 真吾

山田 豊

穂田 祥子

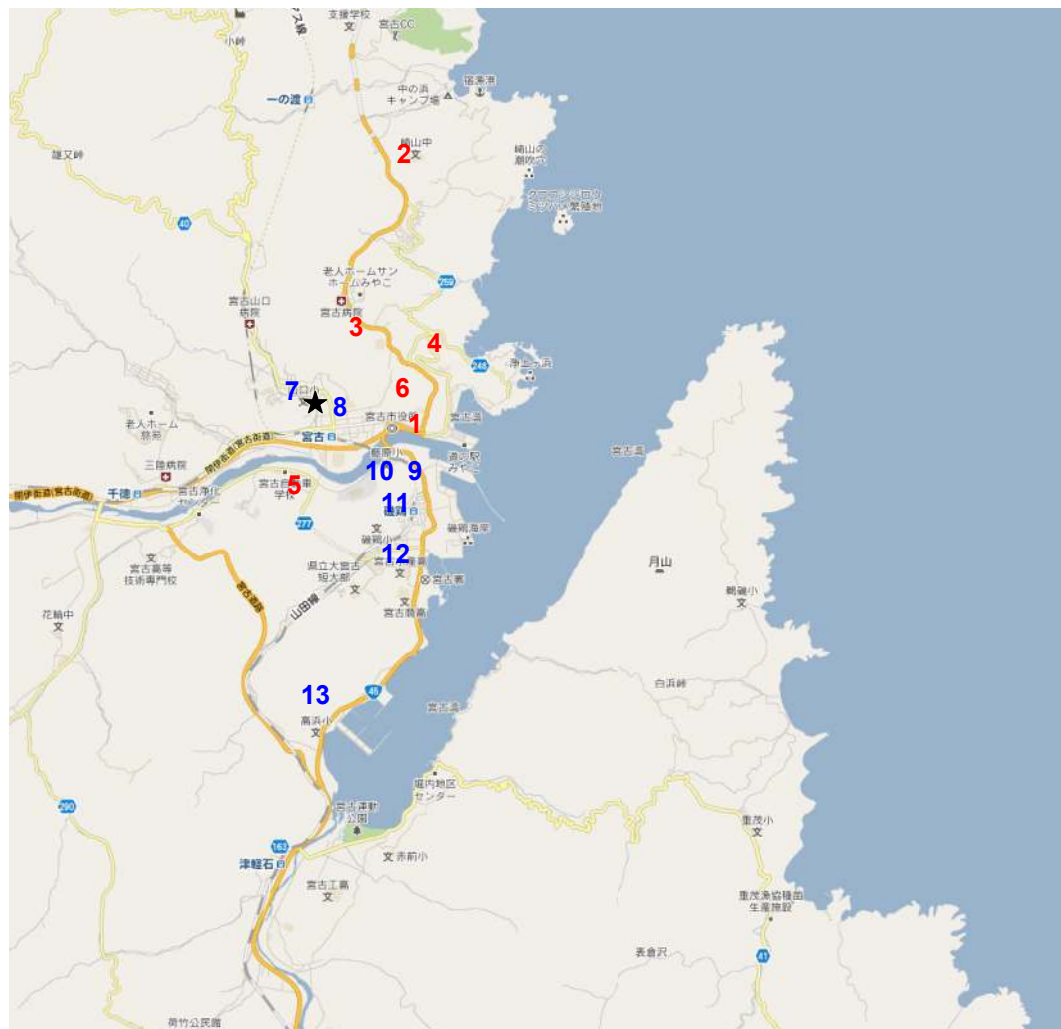


# 第7陣の支援活動地域（変更なし）



↑ 岩泉町

↑ 田老町



図外	田老町	
	岩泉町	
1	中央公民館	訪問
2	崎山小	琉球・菊池・花巻
3	宮古第二中	
4	鍬ヶ先小	
5	総合体育館(パーク+休暇村)	
6	愛宕小	
★	宮古市合同庁舎	
7	山口小	佐賀県チーム
8	宮古小	
9	比古神社	
10	藤原小	
11	磯鷄小	
12	河南中	
13	金浜老人保健センター	

# 第7陣活動時の状況とニーズ

## <宮古市の状況>

- 5月上旬より仮設住宅入居開始.
- 仮設住宅の9割は着工済み. 避難者の多くは6月中に入居できる予定.
- 仮設住宅へ生活指導相談員配置予定.

## <宮古市の活動>

- 被災地域の全戸訪問終了.
- ハイリスク（遺族・乳幼児等）・仮設住宅・避難所退去者の訪問を継続.
- 訪問ケースの同行診察・評価の依頼増.

## <支援者面接>

- 田老地区支援者面接は5/13に終了.
- 宮古市支援者面接は、週1枠へ減予定.

## <身体チーム撤退>

- 5月末で撤退（山田町は継続）.
- 被災者の保険診療は無料化延長.

## <被災者の動き>

- 被災者の格差の拡大. 多問題化.
- 深刻なASD・PTSD者は少ない.
- うつ病・アルコール相談の増加予測.

## <心の相談拠点案>

- センターから、宮古市は週1回の心の相談拠点案が提案.
- 正式決定・具体的案は未定.
- 山田町で活動を開始. ニーズ把握が主
- 7月中に、心ケアチームの支援終了.

1. 中長期的な心のケア体制の計画・準備
2. ハイリスク者・仮設住宅へ保健師訪問の同行診察・評価



# 第7陣のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8:30- 保健師とのミーティング</li> <li>■ 9:00-9:30 チームミーティング</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 引き継ぎのため花巻病院に移動</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関係機関挨拶・日程調整</li> <li>■ 避難所巡回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 避難所巡回</li> <li>■ 予約ケース診察（鍼が先小）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪問同行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪問同行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保健センターで講義（Dr・CP）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 避難所巡回</li> <li>■ ベースキャンプ整理・撤収</li> </ul>	
午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 避難所巡回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 13:00-15:00 宮古市支援者面接（中央公民館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪問同行</li> <li>■ 往診（田老）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪問同行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 往診（田老）</li> <li>■ FM出演（CP）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 待機</li> <li>■ FM出演（CP）</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 15:00-16:30 宮古市訪問ケース会議（中央公民館）</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 17:00-18:00 保健師ミーティング（宮古合同庁舎）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 17:00-18:00 支援チーム全体会議（宮古合同庁舎）→5/30で終了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 17:30- 田老町診療所と打ち合わせ（グリーンピア）</li> </ul>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 肥前とのミーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 18:00- チームミーティング</li> </ul>					

# 活動の現状と展望



	現状	展望
避難所巡回	派遣保健師が定期巡回。 終了ケースが主。新規ケース無	仮設住宅へ移動⇒縮小⇒終了
支援者相談	田老は終了。 宮古市は週1枠へ減。	縮小⇒終了。その後は元の職域の 心相談へ移行 フォロー面接を検討中
講演・ 情報提供	依頼時に心ケアチームが実施	今後は地元へ依頼⇒撤退時に終了 必要時の資料提供は続ける
訪問ケース	①仮設住宅 ②ハイリスク者 ③母子アンケート ④避難所退去者 ⑤継続ケース等	<b>継続支援・医療の必要性</b>  ⇒今後も継続が必要 相談診療拠点の中核業務になる 地元へ円滑な移行が必要

# 今後の宮古市・山田町の心の支援体制案①



## 〈こころの診療拠点への移行〉

1. 岩手県・宮古保健所・宮古市の方針に沿って行動。
2. こころの診療拠点案（宮古保健所管内）
  - 山田地区 週2回の「こころの診療拠点」開設
    - ・ スタート時期・準備期間・移行への支援
    - ・ こころのケアチーム（大阪他）との連携
  - 宮古市 週1回
    - ・ スタート時期・準備期間・移行への支援
    - ・ こころのケアチームの取りまとめ（少なくとも国立病院機構系＝琉球・菊池・肥前は1本化）
3. 支援を一本化するためには「カルテ」的な記録の一本化が必要である。記録（こころのケアチームの）を提供し、1人1カルテが必要。

# 今後の宮古市・山田町の心の支援体制案②



## ＜国立病院機構系の活動体制＞

- 1.宮古市でのこころの診療拠点立ち上げを支援する。
- 2.宮古市の精神保健活動の後方支援
  - 保健師の相談役
  - 生活支援相談員のスーパーバイズの役割
- 3.求められれば
  - メンタルヘルスに関連する教育・啓発
  - その他のメンタルヘルス関連事業
- 4.期間は7月の適当な時期まで
- 5.国立病院機構系＝琉球・菊池・花巻チーム
- 6.3人構成のチームとする（精神科医師・心理士・看護師または精神保健福祉士）
- 7.車3台で機動性を確保する。

## 今後の宮古市・山田町の心の支援体制案③



### <その後のフォローアップ体制と連絡窓口>

1. 定点支援：3ヶ月（6月）、6ヶ月（9月）、9ヶ月（12月）、12ヶ月（3月）にその後の経過、問題や支援ニーズを探る。
2. 支援根拠：岩手県・宮古保健所・宮古市の要請に基づく
3. 窓口：琉球病院
4. 国立病院機構混成チーム（琉球・菊池で派遣）
5. 3人構成のチームとする（精神科医師・心理士・看護師または精神保健福祉士）





# 第7陣の主な活動内容と課題

## 【主な活動内容】

- ① ハイリスク者等の市保健師訪問に同行
- ② 新規・継続ケースの診察（うつ病・不安障害）
- ③ 支援者面接の縮小を調整
- ④ 情報提供（講義・FM出演）
- ⑤ 心ケアチームへの相談窓口の整備
- ⑥ 支援終了時期の決定

## 【課題】

- ① 心の診療拠点の正式決定を待ち、今後の方針の具体化。
- ② ケース記録等の書類の市保健センターと共有。
- ③ 地元精神科医療機関へ紹介が必要なケース（うつ病）が出てきており連携構築が必要である。

# 保健師の訪問

## <現状>

- ハイリスク者（遺族・精神疾患事例）・母子アンケートで気になる家庭・継続ケース等を市保健師が訪問しており、心ケアチームが同行している。
- 市保健師が、アウトリーチで初期対応・評価ができており、実力をつけつつある。
- 仮設住宅は応援保健師が全戸訪問している。避難所で既にフォローしていたケースが多く、現時点では診察依頼は少ない。

## <課題>

- 今後は数は多くないが、緊急性・重症度が高く、継続フォローが必要なケースが予想される。
- 心の相談拠点・医療機関との連携や具体的な役割分担が必要である。

# 心ケアチームへの相談窓口・流れ

避難所・自宅・仮設住宅・ハイリスク者・その他



宮古市保健センター



地区担当保健師



保健師ミーティング(金:15:30~17:00)



保健師経過観察



訪問ケース会議(火:15:00~16:30)



保健師経過観察



心ケアチーム対応



医療機関紹介

- 心ケアチームへの相談事例は、全て市保健センターへ連絡。
- 緊急度は地区担当保健師と検討する
- 6/1より、宮古保健所より通知

# 心の診療拠点の相談窓口・流れ（案）

自宅・仮設住宅・ハイリスク者・その他

- 相談事例は、市保健センターへ連絡
- 緊急度は地区担当保健師と検討



宮古市保健センター

- 週に5～10ケース程度ケース会議に上がり、要診察ケースは1～3例と予想。（現在の活動より推計）
- 活動時間は、ケース会議90分、来所診察90分の3時間程度と予想。（現在の活動より推計）
- 心の診療拠点での医師診察は来所相談を基本とする。
- 活動初期は、重症例を医療機関に繋ぐことを優先する。
- 心の診療拠点でケースを抱えることは困難。継続例は、医療機関に繋ぐor保健師フォローを基本とする。
- アウトリーチ・初期評価は市保健師が担当。



地区担当保健師



保健師ミーティング（金：15:30～17:00）

保健師経過観察



心の診療拠点ケース会議（90分程度）

保健師経過観察



心の診療拠点対応

医療機関紹介

<課題>

- 継続支援のためには1個人・1記録・多機関同時記録が必要。

# 避難所巡回

## (活動)

- 毎朝の保健師ミーティングに参加し、保健師の動きを把握・気になるケースなどの情報共有。
- 月・土の午前中に避難所巡回し、保健師からの依頼・継続ケースに対応する。



## (まとめ)

- 通常的生活・仮設住宅入居も進み、避難所登録者が減り続けている。
- 新規ケースは無く、継続ケースも保健師フォローで対応できている。

## (今後)

- 仮設住宅への移動に伴い、さらに避難所巡回は縮小。
- 保健師からの依頼に柔軟に対応していく。

# 支援者への面接

## (活動)

- 市保健センターからの依頼（宮古市支援者）  
→依頼が減っており、第8陣の予定者はない
- 田老診療所からの依頼（田老地区支援者）  
→一旦終了し、依頼時に対応する。



## (今後)

- 宮古市についても、枠を2→1へ減予定。保健センターと佐賀県チームへ相談しており、8陣で調整ください。
- 現在まで要フォロー例はない。今後、要継続ケースが出たら引き継ぎ先は医療機関？心の診療拠点？

## <現状>

- 現場のニーズに応える形で、依頼時に講演・講義を実施している。
- みやこ災害FMに心理士が出演。一般市民の啓蒙が目的。

## <まとめ>

- 現場のニーズに基づき、前線に立つ支援者の知識・スキルを高める目的の講義は必要。
- FM出演時は、市民の質問に返答する形をとった。
  - 「被災を受けた人とどう接すればよいか？」
  - 「仮設住宅に入り生活が落ち着いた後のほうが、気持ちが落ち着かなくなっている」
  - 「震災があったので、施設にいる障害を持つ子を引き取り同居したほうがよいか？」など生活に密着した質問がほとんど。
  - 市民への啓蒙として、コミュニティーFM出演は効果あるか？
  - 地元の方が啓蒙できるように応援している。

# 第8陣のスケジュール（案）



	月	火	水	木	金	土	日
午前	■ 8:30- 保健師とのミーティング						■ 引き継ぎのため花巻病院に移動
	■ 9:00-9:30 チームミーティング						
	■ 関係機関挨拶・日程調整 ■ 予約ケース診察（鉾が崎） ■ 避難所巡回	■ 予約ケース診察（田老）	■ 訪問同行	■ 訪問同行	■ 訪問同行	■ 避難所巡回 ■ 野村CP児童ケース面接	
午後	■ 避難所巡回	■ 13:00-15:00 保健センターで講義（CP野村）	■ 訪問同行	■ 訪問同行	■ 訪問同行	■ 待機	
		■ 15:00-16:30 宮古市訪問ケース会議（中央公民館）					
	■ 17:00-18:00 保健師ミーティング（宮古合同庁舎）	■ 17:30- 田老町診療所と打ち合わせ（グリーンピア）	■ 17:00-18:00 保健師ミーティング（宮古合同庁舎）				
	■ 肥前とのミーティング	■ 18:00- チームミーティング					

火曜日13～15時の宮古市支援者面接は8陣以降予約なし。佐賀県チームと枠を減らすことを相談ください。

5/14 第3回心のケアに関する意見交換会

5/16 岩泉町での遺族訪問同行（13時～岩泉町保健福祉課：千葉保健師0194-22-2111）